

## 4 地球環境関係データ

### ■概要

#### (1) 大阪府における温室効果ガス排出量

府における 2002（平成 14）年度の温室効果ガス排出量は 5,612 万CO<sub>2</sub>換算トンで、基準年度（1990（平成 2）年度、ただし、代替フロン類については 1995（平成 7）年度）の排出量に比べ 2.8%の減少となっています。

また、温室効果ガスの 96%を占める二酸化炭素の排出量は 5,397 万CO<sub>2</sub>換算トンで、これは全国の排出量 12 億 4,760 万CO<sub>2</sub>換算トンの 4.3%にあたります。

#### (2) エネルギー消費量の推移等

府内におけるエネルギー消費量について、1990（平成 2）年度からの推移をみると、全体としては増加と減少を繰り返していましたが、2003（平成 15）年度は 824PJ（PJ=千兆ジュール）と増加し、1990 年度以降では最も多くなっています。

#### (3) 新エネルギー等の導入実績

府における新エネルギーの導入実績については、太陽光発電が約 33,700kW と、昨年度と比較して約 8 千 kW 増加しています。また、廃棄物発電が約 18 万 kW、天然ガスコージェネレーションが約 47 万 kW などとなっています。

#### (4) 酸性雨

酸性雨（酸性沈着）には、湿性及び乾性沈着の 両過程により、土壌、湖沼などの生態系に影響を及ぼします。府では府内市町村と共同して調査を継続実施するとともに、全国的な共同調査や東アジア酸性雨モニタリングネットワーク等に参画・協力しています。これまでの調査結果から酸性雨は、欧米と同レベルで推移しており今後とも注意して観測する必要があります。

### ■地球温暖化関係データ

#### 4-1 大阪府における温室効果ガス排出量の推移（推計）

